

令和3年度

# 事業計画実績報告書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

社会福祉法人 横手福寿会

〒019-0703 秋田県横手市増田町吉野字梨木塚100-1

## < 目 次 >

1. あゆみ	1
2. 介護老人保健施設 りんごの里 福寿園	
・ 各部門総括	2～9
・ 各種委員会総括	10～12
・ 研修・出張の実施状況	13～14
・ 職員学習会の実施状況	15
・ 年間行事計画の実施状況	16
・ 慰問・ボランティア・実習等の状況	17
・ 防災計画の状況	18
3. グループホーム ひだまりの家	
・ 総括	19
・ 各種委員会総括	20～21
・ 年間行事計画の実施状況	22
・ 慰問・ボランティア・実習等の状況	23
・ 防災計画の状況	24
4. グループホーム ひなたの家	
・ 総括	25
・ 各種委員会総括	26～27
・ 年間行事計画の実施状況	28～30
・ 慰問・ボランティア・実習等の状況	31
・ 防災計画の状況	32
5. ショートステイ ラ・ボア・ラクテ	
・ 総括	33～34
・ 各種委員会総括	35～39
・ 研修・出張の実施状況	40
・ 職員学習会の実施状況	41
・ 年間行事計画の実施状況	42～43
・ 慰問・ボランティア・実習等の状況	44
・ 防災計画の状況	45
6. 居宅介護支援センター、訪問介護センター 総括	46
7. 訪問リハビリセンター 総括	47
8. ラ・ボア・ラクテ 居宅介護支援センター 総括	48
9. 事業別利用者状況表	49

## 令和3年度のあゆみ (令和3年4月1日～令和4年3月31日迄)

令和 3年	
5. 14	監事監査
5. 18～19	入所者胸部レントゲン (結核健診)
5. 26	理事会
6. 16	理事会 / 評議員会
6. 22	避難訓練 (日中想定)
8. 24	屋内夏祭り
9. 1	花火大会
9. 14	理事会
9. 29	評議員会
10. 19	避難訓練 (夜間想定)
11. 12	寿司キャラバン
令和 4年	
3. 16	理事会
3. 30	評議員会

# 令和3年度 介護計画課 総括

## 1. 在宅復帰支援

在宅復帰者は45名（昨年34名）と増加している。中間施設として認知度が上がり病院や居宅介護支援事業所からの紹介が昨年より多くなっている。在宅生活へ戻る前提で入所前訪問や退所前訪問、在宅担当者との情報共有、リハビリ調整など年間を通して安定的に実施できた事で40～50%前半の在宅復帰率を確保できている。また、ベッド回転に関しては在宅復帰者の少ない冬期間に10%以上を確保できおり年間を通して超強化型を維持できている。入退所調整（事前面接、入退所時訪問、書類整備など）に時間を費やし、空床調整がうまく出来ず稼働率は95～96%と低くなっている。早めの調整を心がけて稼働率97～98%後半を維持できるようにしたい。今後もさらに手厚い支援を意識し在宅復帰者の増加に努めていく。

超強化型施設維持の課題としては、在宅復帰率を年間通して50%以上を維持する事にある。年度の後半（R3.11～R4.3）はベッド回転率で加点し超強化型を維持していたが、稼働率の低下が減収に繋がっている。依然として入所後の機能低下や怪我（転倒）、病気からご家族の退所への意向が変わる事があり、長期入所への切り替えや他施設（ロングショートなど）に移られ、在宅復帰のカウントができないケースがある。そういった事例を減少させていく事が復帰率の増加に繋がると考えている。

## 2. 安定した稼働率の維持

年間を通して平算で、入所86.4（昨年は92.0）短期入所10.8（昨年は6.3）合計97.2（昨年は98.3）となっている。入所に関して平算合計は1.1低下している。入所ベッド回転調整の兼ね合いでSSベッドの割合を昨年より3～4床多くしている。入院退所や在宅復帰予定者の退所予定日の変更、SS利用者の急な予定変更に対して空床調整に苦慮した事が原因となっている。待機者の整理や短期入所者割合の増加を行い、空床時の迅速対応により安定した稼働率を確保できるようにしていく。

## 3. 多職種、各課との連携

事前面接や在宅カンファレンス、入退所前後訪問など各課の協力を得て行う事が出来ている。今後も継続していきたい。

## 4. 職員のスキルアップを図る

研修会や各種学習会への参加で多職種、多事業所との交流や意見交換する機会を持たせた。

## 5. ケアマネジメント業務

定期的なアセスメントや評価から利用者ニーズの把握やプランへの反映が出来た。ご利用者様の状態把握に努め、状況に応じた臨機応変なカンファレンスの実施とプランの作成を心掛けていく。

## 6. 相談及び援助

居宅介護支援事業所や相談者に対して、ニーズに応じた相談援助を行う事が出来ている。

## 令和3年度 介護課 総括

### 1. 利用者様の尊厳を守り、生活機能の維持・向上に努める。

①利用者様からの意見や訴えについて真摯に受け止め、対応の改善などに努めた。

②【3階】在宅復帰者を主として、職員が不足する中でも継続的なりハビリを提供する事が出来た。感染予防からも一時帰宅による在宅リハビリの推進については実施出来ていない為、今後の課題と考える。ご本人のモチベーション維持やご家族の期待がある中で、具体的な機能向上について評価・提示出来る様にリハビリ課との連携を密に実施していきたい。

【2階】タクティールケア（不安な感情を取り除いたり、痛みを和らげたりする）、いきいきプログラム、体験工房については職員の欠員により提供出来ていない。日常のグループワークについては継続出来ている。今後は実施内容を見直し、少しでも日常に楽しみやハリを持った生活を送る事が出来る様にしていきたい。

③トラブル発生状況については例年通りの発生となっている。今後は予防の観点での対応に努め、不注意や受傷を伴う事故が無いように環境作りを行っていく。

### 2. 介護サービス向上、人材育成への取り組み強化

- ・各職員との個人面談を実施している。自身の仕事について見直すとともに、今後の課題へ向けた取り組みを考え実行できるように実施した。また、要望等について聞き取りを行う事で働きやすい環境作りに繋げていけるよう今後も継続する。
- ・新入職員オリエンテーションについては計画を見直し、また、オリエンテーション職員への指導も含め実施する事で、新入職員の職場定着を目指した。
- ・職員の欠員により外部研修への参加が出来なかった。今後はオンライン研修など参加しやすい環境である事から、積極的に実施していきたい。

### 3. 高齢者虐待、身体拘束、感染予防の周知徹底

- ・各委員会での学習会内容等をもとに周知を図った。虐待の発生はなく、また身体拘束についても必要性の確認や解除に向けての取り組みは継続出来ている。
- ・感染対策については、コロナウイルスへの対応を継続する事で、他の感染症についても持ち込みなく経過している。今後も相談をしやすい環境を維持し、少しでも不安があればすぐに報告出来る体制をとり、感染持ち込み予防を徹底していく。

## 令和3年度 看護課 総括

1. 多種多様な利用者様の体調についてリスクを考慮し早期に対応していくことに努めている。課内において職員個々の勤務体制（育児時間や介護時間等）の制限が生じていることから職員が共通の認識で利用者のリスクを把握し業務を遂行できるようにマニュアル化や業務の見直しを実施する
2. 感染症の早期発見と対応については 従来の感染症に加え新型コロナウイルスについての対応やワクチン実施などの迅速な判断が求められている。感染者や状況を把握し引きつづき対応していく。
3. 薬品や備品の確認を行い定数や現状の必要物品の把握に努めている。今後現在の利用者様の状態や感染管理の観点からの整備を実施する。
4. 面会制限などの現状の中で利用者様の状態の変化についての伝達に配慮している。特に終末期や体調不良時などは留意して対応していく。

## 令和3年度 通所リハビリテーション課 総括

1. 利用者様の自立を目指し、生きがいのある生き生きとした生活を送る為に支援する。  
曜日ごとの小集団活動は時間や内容の見直しをした事で、選択肢を増やし自ら選んで楽しく活動できるよう利用者様の継続的な参加意欲を促した。今後も自主的な活動として活発的に行っていく。やる気ポイント制度においては新たに利用者様へ分かりやすく掲示する事で内容を周知し、活動内容についても再検討し、職員間で共通認識のもと利用者様へ支援するようにした。利用者様がさらに主体的に活動でき、職員と共に通所リハビリを作り上げていけるような環境を目指していく。リハビリについてPT、OTによる個別・集団リハビリを強化している。介護職員も生活の中で、リハビリに対する視点をさらに高めながら、今後もしリハビリ課職員と連携し情報共有に努め、機能維持に努めていきたい。
2. 利用者様やご家族様の満足と達成感を得られる質の高いサービスを提供する。  
普段の業務とすり合わせた内容を取り上げた課内学習会を定期的に行うことで、知識の向上に努め再確認する事ができた。また、定期的な利用以外にもご家族様都合などによるスポット利用に関して都度実施することができた。ご家族様のレスパイト目的の利用に対してもしっかりと役割を果たせるように努めていきたい。
3. 安全・安心に利用していただける環境作りに努め、細心の配慮を心掛け、サービス提供時の事故・トラブル減少に努める。  
車両事故について、利用者様、職員の怪我等はなかったものの、同乗していた利用者様、またご家族様に対して多大なるご迷惑を掛ける結果となった。法令の順守及び安全を第一とした運転業務の遂行を強く指導し、次年度は、事故件数ゼロになるように運転手のみならず添乗員も責任を持って送迎にあたる。特に冬期間は視界も悪く道幅

も狭い為時間に余裕を持ち行動する事を心がける。

利用中の転倒及び事故は19件、昨年度より4件増え受診に至るケースあり。同じようなトラブルや再発防止策がしっかりと出来ていない事によって起きた事例もあるため、職員個々の危険予知能力を高めヒヤリハット等を周知し、適切な業務を行い事故ゼロを目指す。

感染症においては迎え時の体温測定、体調確認、新型コロナウイルス対策を徹底した事により感染拡大は見られなかった。今後も継続して感染予防を徹底していく。

## 令和3年度 リハビリ課 総括

### 【入所・短期入所】

- ① 職員1名体制のクラブ活動ではリスク管理の点から参加人数や提供内容が限られ、利用者様の自主性・意欲の引き出しに繋がられない状況であった。10月より一部のクラブを2名体制にて実施し、多くの利用者様に参加して頂くことができています。
- ② 在宅復帰予定者に対し看護・介護課と連携し、日常生活動作の自立度をアップすることができた。新入職員は能力判定が後手に回りやすく、日常生活の拡大が遅れる傾向にあるため今後も助言が必要。  
利用者様の状態変化に合わせ介護課と連携をとり、ベッドや車椅子の姿勢保持について安全な食事摂取や褥瘡・疼痛予防に努めることができた。  
短期入所者には自宅環境に近い状況で生活できるよう、補助具を選定し介助方法について介護課と連携を取ることができた。
- ③ 週3回の個別リハビリの実施は確実に行うことができています。  
在宅復帰目的の新規入所者には週4～5回の個別リハビリを提供し、短期集中リハ加算を算定している。（今年度の加算算定者10名、リハ件数412件）  
調理や洗濯などの家事動作練習が模擬練習にとどまっているため、実際の動作練習ができるように環境を整える必要がある。  
短期入所の個別リハビリ希望者が増加し、今年度のリハビリ提供は1087件であった。
- ④ 課内カンファレンスを定期的実施し、各職種で意見交換をして方針やプログラムを見直している。

### 【通所】

- ① 移動時の介助内容とリスクについての評価を通所介護スタッフと共有することで、過度な介助や見守りをなくし利用者様の自主性を高めることができています。また、体調不良や再利用時にも再評価しているが、状態変化に対応が遅れ能力と介助内容が乖離していることがあるため、定期的な見直しが必要である。
- ② 短期集中個別リハ加算算定者は1名であった。今後も通所相談員、ケアマネージャーに働きかけていく。
- ③ 「ニーズ把握表」の活用や、利用者様とのコミュニケーションにおいて「身体のこと」よりも「やってみたいことやできなくて困っていること」へ話題を向けるよう努め、「活動」「参加」のニーズの掘り起こしを行っている。  
利用者様の望む「参加」「活動」を達成するためのリハビリテーションを提供するためにICF（生活機能分類）を活用した課題分析にも力を入れている。
- ④ 歯科衛生士と連携をとりながら「言葉のリハビリ」を実施している。実施者は10名。
- ⑤ 自宅での自主トレーニングを口頭指導している。希望に応じて紙媒体での提示を行っている。マシンに関してはグループの時間外でも開放し、空いているときは使用できるようにしている。

【職場環境の整備】

- ① 新卒の職員へのオリエンテーションのため、担当のローテーションは実施しなかった。新入職員は担当チームのオリエンテーションを終了し業務にあたっている。
- ② 体調不良による長期休業はなかったが、突発的な休みにも対応できる人員数を確保できている。不調のサインを見逃さないように今後も気を配っていく。
- ③ リハ機器の消毒作業を毎日行い、感染を媒介しないように努めている。通所と入所で共有するものは時間を分けて使用していただいている。感染対策強化時はフロア移動が制限されるため、入所利用者様の活動量を維持する工夫が必要。
- ④ オンラインの研修に参加し、全スタッフがZoomを体験した。研修報告会の他に症例報告や課内の勉強会を行い職員間の知識や思考過程を共有する機会を持つことができた。臨床実習指導者講習会修了者2名。受講資格のある職員全員の修了を目指し、計画的に受講していく。

## 令和3年度 口腔衛生課 総括

### 1. 通所リハビリテーション

口腔機能向上サービス利用者は、9～12名で推移している。

新規利用者様の口腔アセスメントを実施し、口腔内の状態把握と職員、ケアマネージャーへの情報提供を行うことができています。

全利用者様の口腔に対する相談に対応した。

職員への助言・指導を随時実施。

### 2. 入所サービス

口腔衛生管理体制加算・口腔衛生管理加算は全入所者様へ対応することができた。

また、技術的助言及び指導と学習会を通して、職員への指導を実施した。

### 3. グループホーム

口腔衛生管理体制加算において月1回の訪問出来ており、利用者様の口腔衛生向上に努めている。また、職員へも随時指導を行っている。

### 4. ラ・ボア・ラクテ

月2回の訪問を継続しており、利用者様の口腔衛生向上に努めている。

訪問時は随時職員への助言を行い、口腔ケアの意識向上や技術向上につなげている。

### 5. 関係医療機関との連携を図る

歯科治療の希望者には、協力歯科医院の赤沢先生の往診治療を受け入れる体制を整備している。ご家族様との連絡や歯科医院への依頼を行い、往診時の準備・対応を実施した。

また、利用者様やご家族様の希望で、すえひろ歯科医院での対応も行っている。

### 6. その他

健康アップ教室利用者様に口腔ケア指導を行うことができた。

次年度に向けては、オンラインセミナー等があれば積極的に参加し自分たちのスキルアップを図り、介護職員への助言・指導へつなげていきたいと考えている。

また、利用者様やご家族様の直接の相談にも対応できるように努めていきたい。

# 令和3年度 事務課 総括

## 1. 職場の環境作り

- ① 各課の垣根を越え、多くの職員とのコミュニケーションを取り、各課にまたがる問題等を横断的に解決するよう心掛けた。
- ② 仕事に対する充足感を得られるように、用がある時は事務課から出向き、現場第一で業務を遂行した。

## 2. 事務業務の共有化と標準化

- ① 業務上必要に応じての協力体制の構築に努めた。担当者がいなければ全く分からないといった事が無いようにした。
- ② 請求業務等や利用者様の預り金など、現金や数字を扱う業務が多いが、大きなミスはなく出来た。
- ③ 物品を購入する際も、値段の比較などをした上で購入した。消耗品の節約も含め継続していく。

## 3. 人材確保に向けた体制作り

- ① 人材確保に向けホームページを一新した。

## 4. 地域貢献に向けた取り組み

- ① 高齢者くらしのサポートセンターで、町内に住む独居高齢者への安否確認を実施している。
- ② 地域活動の「つどいの和 りんりん」を1年間実施。現在の登録者は12名。今後も継続していく。

## 5. 感染対策への取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染予防として、出勤時の体温チェックや基本的な消毒等を継続。同居人が濃厚接触者になった場合など、状況に合わせた指示休暇を設定した。3回目ワクチン接種は希望者すべて完了した。

# 令和3年度 「施設管理部門」 総括

年間を通じて施設利用者の方々に安心かつ安全に過ごして頂ける様な環境作りを行う。

## 1. 施設経費の状況を把握する

水道、各種電気、燃料の使用量及び金額の前年対比とその分析を継続する。

## 2. 車両関係

① 効率よりも安全を基本とし、人身・物損事故のゼロを目指す。

人身に関わる事故はなかったが、車両事故が2件発生し、昨年度よりは3件減少した。事故の内訳は、単独物損事故が2件であった。次年度は事故ゼロを目指し、更に注意して運転業務にあたりたい。

② 数台の施設送迎車両が更新時期を控えているが、業務に支障が出ない様に計画的に更新を進める。

長期的な運用を考え、車両の更新については前々から計画し、送迎等の業務に支障がないように進める。

## 3. 設備の保守、作成

① 特殊技術や特殊工具使用等の設備、機器を除き、出来るだけ修理は部品のみの購入とする。

そして作業は自前で実施し、経費削減を更に強く推し進める。

自部署で修理可能な物件は、出来る限り材料や部品のみの購入とし、業者に依頼するケースを少なくするように努めた。特に水栓器具、加湿器等の電気器具等に至っては更に強く推進した。他に非常灯のバッテリー交換や溶接、特殊浴槽修理、車両リフトの不具合等、修繕に努めた。

## 4. 環境整備関係

① 新型コロナウイルス感染予防の為、今年度においては全館窓ガラス清掃を実施したが、フロアワックス掛けは実施しなかった。

② 芝生と植栽樹の維持管理を継続する。

前年同様に除草剤使用による雑草の抑制、芝生の刈り取り、石拾い等の管理をした。

③ 除雪について常に早めの作業に努め、安全かつ効率的な除雪を実施する。

昨年同様の大雪により、日々各所の雪寄せ、雪下ろしに追われる事になった。優先順位を明確化し効率的に除排雪作業を行っていききたい。除排雪中のけがや事故はなく、物損も発生しなかった。

## 5. その他

① インフラ整備面では、経年劣化により数か所で配管の漏水等による工事が必要となったが、日中出来ない水道や配管工事は夜間に行い、騒音が発生する作業は事前に周知した上で出来る限り利用者様の迷惑にならないように配慮した。

## 【 各種委員会関係 】

### 『給食改善委員会』

#### 実績報告

- ①各専門職が話し合いのもと、食事形態や食べやすい食事、食器等の検討ができた。
- ②嗜好調査を行い、利用者様が日頃食事に対して感じていることや食べたいものなどを知り献立に反映させることができた。
- ③個別対応として、利用者様一人ひとりの要望を聞き、体調や状態に配慮しながら対応することができた。

### 『家庭介護者教室運営委員会』

#### 実績報告

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、例年通りのご家族様を施設に迎えての教室を開催する事は出来なかった。その替わりとして利用者様、ご家族様へ向けて情報を発信するお便りを4回発行した。内容については下記のとおり。

第1回：屋内で出来る体操、職員紹介

第2回：熱中症と新型コロナウイルスの予防、夏バテを予防する食事

第3回：冬の感染症対策、ヒートショックと正しい入浴方法

第4回：爪のトラブル、自宅で出来る体操

次年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から、以前のような教室の開催は難しいと思われるので、今年度に引き続きお便りの発行で情報提供していきたい。内容については、利用者様、ご家族様にとって有益な情報をお届け出来るよう、委員会メンバーで十分に話し合っていきたいと考えている。

### 『行事委員会』

#### 実績報告

#### 活動内容

6月レクリエーションゲーム      8月納涼祭（室内）      9月打上げ花火 敬老会  
R4. 1月餅つき・おみくじ大会      2月節分（豆まき）

近隣の新型コロナウイルスの流行状況に配慮し、出来る活動を実施した。

前年度に続き施設内での活動に限られたが、縮小や形を変えながらも季節行事などを企画し実行することができた。

コロナ禍の施設生活において、一つでも多く行事を開催できるように、感染対策に配慮した新しい形の行事を模索した一年となった。今年度開催できた企画をもとに来年度も積極的に活動していきたい。

### 『感染対策委員会』

#### 実績報告

1. 施設内の日常の感染予防については 委員会やチェックシートによる確認を実施しているが 今後はラウンドを実施するなど現状の把握と対策に努める。また新型コロナウイルス感染症については現状の対策をマニュアル化して持ち込み防止に努めている。
2. 新型コロナウイルスの発生事例をもとに学習会を実施
3. 感染対策については最新の情報や地域の状況を把握し早期に職員に周知を図っている。

## 『環境サービス向上委員会』

### 実績報告

#### 1. 施設の臭気・美化について

- ①各居室の消臭ビーズ交換を行った。始めは頃合いを見て、交換ができていたが、後半は手を付けられずにいることがあったので、来年度は定期的に交換を行っていききたい。
- ②年 2 回の下駄箱清掃を実施することが出来た。実施はしたものの、全員が行ったとは言い切れない為、実施していない職員への促しを行っていききたい。
- ③臭気の気になるゴミ箱への消臭剤設置の意見が出たが、対応できずに終わってしまった為、次年度にはぜひ取り入れていききたいと思う。

#### 2. サービス向上について

- ①ご家族様アンケートを行いサービス向上に努めた。ご指摘頂いた部分に関しては真摯に向き合うと共に、たくさんの温かい言葉も頂き職員のやる気向上に繋がったのではないかと感じた。アンケート配布に関しては計画通りに行えたが、集計に時間が掛かり、返送が大幅に遅れてしまったことが反省点である。
- ②職員を対象に自己評価アンケートを実施。自分を振り返る時間となった。
- ③コロナ禍にて学習会は中止となった。資料を準備したが配布しそびれてしまった為、いずれ配布していききたい。

## 『褥瘡対策委員会』

### 実績報告

褥瘡予防のため以前購入したケア用品の老朽化が目立ち、機能、効果に問題が出てきたため、車いす用ジェルクッションを 10 枚購入し補充した。お看取り対応のご利用者様の褥瘡発生率が高かったため、ポジショニングや体位交換のタイミングと実施について、適宜職員へアドバイスしていく事が必要と感じた。

## 『高齢者虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会』

### 実績報告

1. 委員会学習会を年に 2 回開催し、虐待についての基本的な知識とアンケートを基にした学習会を実施した。施設全体で虐待の知識を共有し、不適切なケアについて早期に発見改善できるよう委員より発信していききたい。
2. 身体拘束廃止について、身体拘束を実施する上での条件や廃止に向けた検討会を適宜行った。

## 『事故発生防止委員会・安全衛生委員会』

### 実績報告

1. 実施計画内容については概ね実施出来ている。ヒヤリハットの有効活用や各課との情報共有からの個人へのアプローチについて、今後の課題としたい。

#### 事故発生状況 (前年度比)

転倒	53 件 (±0)	誤嚥	0 件 (-1)	誤薬	3 件 (-1)
皮膚トラブル	31 件 (±0)	経管トラブル	0 件 (-4 件)	異食	0 件 (±0)
その他	20 件 (+15 件)	累計 107 件 (+9 件)			

※その他・・・フォーレチューブトラブル、転倒外の骨折・捻挫、自歯飲み込み、誤飲(消毒薬)、禁止食の提供、服薬忘れ(時間ずれ)、ずり落ち

令和 2 度からの課題であった誤薬について、令和 3 年度は 3 件発生している。職員の不注意によるトラブルを減らす為には常に意識づけをしていかなければならない。慣れにより慢性的なケアにならない様に、今後も委員会等から定期的に働きかけていく。

2. 安全衛生については、各部署の危険個所の確認や腰痛予防、メンタルヘルスへの取り組みが不足していた。今後は定期的に各部署の職場環境チェックを実施し、検討・改善に努める。また、学習会等での全体周知も実施する。

## 『防災対策委員会』

### 実績報告

1. 非常災害時安否確認メール訓練の実施  
メール送信訓練を実施したが、適切にメールが受信されない、又返信が来ない職員が相当数いた。全職員のマメール(災害時等一斉配信用メール)登録を周知し有事の際に必要なツールであることを今一度啓蒙していく。
2. 定期的な非常用物品の点検及び整理  
備蓄庫及び施設内非常用物品の確認を実施した。また。電気火災予防として全館のコンセントの埃を確認、状況に応じて清掃を実施した。  
非常用備品で不足している物品（カセットコンロ等）を購入した。
3. 消防設備、機器の把握と使用手順の周知徹底  
避難訓練時に消火器及び屋内消火栓を使用しての消火訓練、非常放送設備での館内放送、自動火災通報装置での通報連絡及び物干し棒と毛布等を利用しての簡易タンカの作成訓練を実施した。
4. 全職員の避難訓練の参加により、火災発生時の対応を体得する。  
年2回の避難訓練を実施し、できる限り訓練経験のない職員を優先して参加させている。
5. 年間防災計画に基づいた各種点検、訓練の実施  
法定の消防設備点検を専門業者に依頼し機器点検及び総合点検を実施した。防災避難訓練を消防署指導の下、日中想定、夜間想定の2回実施した。

## 研修・出張の実施状況

参加年月日	研修内容	場所	参加者
令和 3年 4月24日	作業療法と自動作運転マネジメント	オンライン	佐々木 真澄
6月11日	県南地区介護支援専門委員協会・令和3年度総会及び 第1回オンライン研修会	オンライン	石 山 守
6月26日	科学的介護情報システムの活用研修	オンライン	柴 田 亜 紀 根 岸 恭 兵
4月21日 6月16日	排尿障害②頻尿・夜間頻尿・機能性	オンライン	眞 田 敦
5月29日・30日 7月 3日	現職者共通研修	オンライン	高 橋 克 典
7月 2日・3日	e-ラーニング(技術編transferシリーズ)	オンライン	佐 藤 舞
7月 2日・3日	介助動作・トランスファー動作について	オンライン	田 中 千 穂
7月16日	第2回オンライン研修・ケアマネに求められる ファシリテーション	オンライン	石 山 守
7月17日・18日	臨床実習指導者講習会	オンライン	柴 田 亜 紀
9月 3日	初めての地域ケア会議	オンライン	佐々木 達 哉
9月12日	2021年度基礎研修Ⅰ・集合研修Ⅰ	秋田県中央 地区老人福祉 総合エリア	石 山 守
11月27日～28日	臨床実習指導者研修	オンライン	野 本 燎 平
12月12日	地域ケアシステムを学ぶため	オンライン	高 橋 真 友 子
12月15日	令和3年度介護支援専門委員等に対する実践力向上研修 ZOOMを活用したオンライン導入講座	オンライン	石 山 守
令和 4年 1月19日	転倒リスク・予防についての理解を深める	オンライン	田 中 千 穂
1月19日	第6回秋田県老年理学療法研究班転倒予防の 基本と実践	オンライン	佐 藤 舞
1月23日	地域ケアシステムを学ぶため	オンライン	高 橋 真 友 子

参 加 年 月 日	研 修 内 容	場 所	参 加 者
1月23日	地域ケアシステムを学ぶため	オンライン	高 橋 真友子
2月12日	運転に関する評価方法や支援について	オンライン	高 橋 克 典
2月13日	秋田県社会福祉士会2021年度基礎研修Ⅰ集合研修2	オンライン	石 山 守
2月16日	令和3年度介護支援専門委員等に対する実践力向上研修 ZOOMを活用したオンライン導入講座～DAY2	オンライン	石 山 守
2月26日	秋田県社会福祉士会 令和3年度小さな勉強会in県南	オンライン	石 山 守

## 職員学習会の実施状況

## 【介護課】

開催年月日	研修内容	参加人数
令和 3年 6月 28日	骨粗鬆症と骨折について	(資料配布)
令和 3年 8月 30日	誤嚥と窒息について	9名
令和 3年 10月 26日	高齢者の皮膚トラブルの原因と対応について	8名
令和 3年 12月 27日	認知症について	6名

※不参加職員には資料配布

## 【通所リハビリテーション課】

開催年月日	研修内容	参加人数
令和 3年 2月 24日	新型コロナウイルス感染症について	11名
令和 3年 4月 28日	入浴中に体調不良を訴えた際の対応についての再確認	11名
令和 3年 7月 28日	熱中症について	8名
令和 3年 9月 22日	带状疱疹について	9名
令和 4年 1月 26日	ヒートショックについてとその予防	9名

※不参加職員には資料配布

## 【全課合同】

開催年月日	研修内容	参加人数
令和 3年 5月 31日	感染対策・事故発生防止について	23名
令和 3年 7月 26日	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	21名
令和 3年 9月 27日	非常災害時の対応について 他	21名
令和 3年 11月 29日	感染対策・褥瘡予防について	24名
令和 4年 1月 31日	サービス向上・事故発生防止について	22名
令和 4年 3月 28日	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	(資料配布)

※不参加職員には資料配布

## 年間行事計画の実施状況

実施年月日	行事名	場所	具体的目標	主な内容
令和 3年 4月28日	和菓子提供	施設内	季節感を味わう行事を提供	季節の和菓子提供
令和 3年 7月27日	和菓子提供	施設内	季節感を味わう行事を提供	季節の和菓子提供
令和 3年 8月24日	屋内夏祭り	施設内	季節感を味わう行事を提供	射的・紙金魚すくい 盆踊り
令和 3年 9月 1日	花火大会	施設駐車場	季節感を味わう行事を提供	花火鑑賞
令和 3年 9月21日	敬老会	施設各フロア	長寿の表彰式 お互いの長寿を一緒に祝う	職員による出し物
令和 3年11月 4日	和菓子提供	施設内	季節感を味わう行事を提供	季節の和菓子提供
令和 3年12月27日 28日	餅つき大会	施設各フロア	他利用者との交流を深め、季節感を楽しんで頂く	餅つき、鏡もち作り
令和 4年 1月11日	和菓子提供	施設内	季節感を味わう行事を提供	季節の和菓子提供
令和 4年 2月 3日	節分行事	施設各フロア	他利用者との交流を深め、季節感を楽しんで頂く	利用者と一緒に豆まき

※コロナ禍のため外出行事は無し。

「介護老人保健施設 りんごの里 福寿園」

### 慰問・ボランティア・実習等の状況

視察・慰問年月日	視 察 ・ 慰 問 者 名	備 考
令和3年 10月13日(水)	シルバー人材センター 約15名	建物周囲の清掃作業(草とり等)
令和3年 12月4日(土)	三浦 漣斗 (横手南中学校3年生)	通所リハビリテーションにて ボランティア活動

## 防災計画の状況

### 令和3年 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練（日中訓練）

実 施 日	参 加 者 数	主 な 内 容
令和 3年 6月22日 午後2時10分～3時15分	職員総数 23名 横手消防署南分署員 3名 セフティ 2名 利用者様 2名	通報連絡訓練 避難誘導訓練 消火活動に使用する設備・器具 の取扱い訓練 屋内消火栓操作法訓練

#### 防災避難訓練（夜間想定訓練）

実 施 日	参 加 者 数	主 な 内 容
令和 3年10月19日 午後2時10分～2時45分	職員総数 16名 横手消防署南分署員 4名 セフティ 1名 利用者様 6名	通報連絡訓練 避難誘導訓練 消火訓練 屋内消火栓操作法訓練

#### 防災対策自主点検

保守点検	年 2回 (3月、9月)
自主点検	月 1回
防災点検	毎日1回

上記の点検等は令和3年度同様令和4年度も実施整備する。

## 令和3年度 グループホームひだまりの家 総括

今年度は7月にユニットいぶきを休止し定員を18名から9名とした。それに伴い、利用者様7名をりんごの里へ、1名が他事業所へ転居していただいた。ご家族様、受け入れ先の協力もあり大きなトラブルなく進めることができた。1ユニット休止に関連しない退所では看取り対応となった方が1名、終末期対応の為の入院退所が1名、ご家族様の判断での退所が1名であった。入所については、りんごの里から2名、他事業所から1名の入所があった。

令和2年度末の職員2名の退職と1名の長期の傷病による休職、3年度4月に1名の退職があった。また後述の2ユニットから1ユニットへの移行に伴い新たに2名の退職があり上半期はシフト作成に大変苦慮したが、現在所属する職員の積極的な協力やひなたの家からの職員派遣といった協力もあり、入所者様へ大きな影響を与えることなく乗り切る事ができたと思う。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策として利用者様、ご家族様、職員に大きな負担が続いた。しかしワクチン接種も進み、感染対策を徹底した上で個別での外出などを実施することができた。

また今年度実施予定であった地域密着型サービス外部評価については、県内での感染拡大にあたり次年度への変更が可能との通知を受け、令和4年度に実施することとした。運営推進会議についても書面での開催となり、介護情報サービスの公表においても訪問調査が見送られた。面会も玄関先での実施とした為、ホーム内に外部の方が入られる事が極端に少なくなっているため、職員の言葉遣いや対応に気の緩みを感じられる場面がみられた。利用者様への対応は常に緊張感を持って行っていきたい。

## 【 各種委員会関係 】

### 『食事・厚生委員会』

#### 実績報告

1. 利用者様と共に食材の買物に出掛けることが出来ない為、生協への注文の割合を多くし職員がホームを離れる機会をいくらかでも少なくした。また積極的に入居者様に食事の支度に参加していただくことが出来た。調理参加の際は利用者様や調理内容に合わせたグローブを用意し衛生管理に努めた。
2. 献立を間違えて食事準備をしてしまった事があり、似たような献立が続く同じ食材の使用頻度が高くなるがあった。献立の確認ミスを注意していきたい。

### 『企画委員会』

#### 実績報告

1. 今年度も新型コロナウイルスへの感染対策により外部へ出向く、関りを持つといった行事が実施できなかった。ホーム内にて季節の行事の実施や車から降りずにドライブするなどを実施した。また朝、夕に体操と集団活動の時間を設け、気分転換や夕方の帰宅願望等の心情の変化に対応することができた。

### 『環境美化委員会』

#### 実績報告

1. 利用者様にも関わっていただき畑やプランターを利用し農作物や花を育てることができた。今年度は募金活動への参加はできなかった。
2. プランターを使用することで生活の場のすぐ近くで植物の栽培に携わっていただくことができた。
3. 生け花を定期的には実施できなかった。

### 『事故発生防止委員会』

#### 実績報告

1. 対応策が徹底されずに転倒されたケースがあった。またトラブルに至らなかったが対応策が意識されていない場面が散見された。トラブル発生時にカンファレンスを実施し原因・対応策を話し合い、後日の会議の場においても振り返りを実施したが月日が経過すると風化してしまうので定期的な確認が必要と思われる。

### 『業務改善・研修委員会』

#### 実績報告

1. ひやりはっとの記録について対応策を記入する事で対応について情報共有することができた。また会議においても振り返る機会を持てた。

### 『広報・介護機器検討委員会』

#### 実績報告

1. 職員の退職や配置換え等により作成期限に間に合わずに発行が遅れてしまった。
2. 職員個々が意識して日常生活や外出の写真を撮ることが出来た。

## 『感染対策委員会』

### 実績報告

1. 新型コロナウイルスをはじめとする感染症がホーム内で流行することなく過ごすことができた。
2. 玄関にてビニールカーテン越しでの面会とすることで禁止する事なく対応することができ利用者様やご家族様の心理的負担に対応できたのでは思う。
3. 外出については、利用者様にとって代替の対応が無く必要と判断した場合においては感染対策を徹底し短時間での買物へ出かけていただいた。

## 『計画作成担当委員会』

### 実績報告

1. ご家族様、利用者様の要望をしっかりと伺う事で、本人の思いに寄り添ったケアプランを立案できた。またケアプランにご家族様の協力を組み込むことができた。
2. 日常生活の中から必要なケアを検討し、ケアプランに反映出来た。
3. ご家族様に対して可能な範囲での協力を依頼し、サービスの範囲を広げる事が出来た。ニーズに見合った目標設定が出来ていると思われる。
4. ご家族様に対しサービス提供の対象は利用者様であり、ご家族様には様々な協力を依頼する場面が出てくる可能性がある事を伝えている。今後も利用者様の要望を第一に考えていきたい。

## 『高齢者虐待防止委員会』

### 実績報告

1. 学習会を開催し、高齢者虐待防止についての理解を深める事が出来た。
2. アンケートを実施し、自らの考えと他職員の考えを照らし合わせる機会が持てた。

## 『身体拘束廃止委員会』

### 実績報告

今年度、身体拘束を実施するケースは無かった。

1. 不適切なケアチェックの実施により日常的な関わりに対しての再確認を実施し、各職員が自らの対応を見直すことができた。
2. 会議を通じて入居者様個々の状態や対応を共有し、不穏時や不眠時の服薬を医療機関に相談し適切な調整ができた。

## 年間行事計画の実施状況

実施年月日	行事名	場所	具体的目標
令和3年4月15日 ～5月12日	お花見ドライブ	増田町内 梨木公園 真人公園 東成瀬方面	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和3年5月27日 ～6月1日	ドライブ	十文字方面 湯沢方面	利用者様の交流を図る。 気分転換を図る。
令和3年7月1日	あやめ見学 ドライブ	浅舞公園 雄物川方面	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和3年7月29日 8月23日	スイカ割り	ひだまりの家	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和3年7月31日 ～9月16日	ドライブ	羽後方面 山内方面 横手城	利用者様の交流を図る。 気分転換を図る。
令和3年9月1日	花火鑑賞 (りんごの里)	ひなたの家前	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和3年9月6日	お茶会	ひだまりの家	利用者様の交流を図る。 気分転換を図る。
令和3年9月20日	敬老会	ひだまりの家	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和3年10月4日	秋の味覚を 楽しむ会	ひだまりの家	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和3年10月7日 ～1月1日	紅葉見学 ドライブ	東成瀬方面 羽後方面 成瀬ダム 天正の滝 ジュネス栗駒	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和3年11月3日 ～11月29日	ドライブ	稲川方面 山内方面 横手方面 東成瀬方面	利用者様の交流を図る。 気分転換を図る。
令和3年12月28日	餅つき	ひだまりの家	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和4年2月3日	節分行事	ひだまりの家	利用者様の交流を図る。 季節を感じる行事の提供
令和4年2月6日 ～3月28日	ドライブ	増田町内 湯沢方面 山内方面	利用者様の交流を図る。 気分転換を図る。

「グループホーム ひだまりの家」

## 慰問・ボランティア・実習等の状況

視察・慰問年月日	視 察 ・ 慰 問 者 名	備 考
令和 3年度	コロナウイルス感染予防の為、実績なし	

## 防災計画の状況

### 令和3年度 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練（日中訓練）

実施日	参加者数	主な内容
令和3年6月22日 午後1時30分～1時45分	職員総数 7名 羽後電設 1名 横手消防局南分署員 3名 利用者様 9名	消火訓練 通報連絡訓練 避難誘導訓練

#### 防災避難訓練（夜間想定訓練）

実施日	参加者数	主な内容
令和3年10月19日 午後1時30分～1時45分	職員総数 4名 羽後電設 1名 横手消防局南分署員 4名 利用者様 9名	消火訓練 通報連絡訓練 避難誘導訓練

#### 防災対策自主点検

保守点検	年 1回 ( 3月 )
------	-------------

上記の点検等は令和3年度同様令和4年度も実施整備する。

## 令和3年度 グループホームひなたの家 総括

今年度も昨年度同様新型コロナウイルス感染対策のため本来の活動が行えない状況であったが、引き続き余暇活動の充実を図り QOL(生活の質)の向上に努めた一年であった。

今年度も外出自粛のため、外での余暇活動が制限される中、利用者様のストレス軽減、気分転換、楽しみの提供に重点を置いた取り組みを行った。年中行事の他、職員からアイディアを募りそのすべてを提案者が企画、計画をたてて実施した。体を動かしたり、食に関するイベント、感染対策を行ってのドライブ等、楽しんでいただける内容を盛り込んで実施、行ったイベントは合計 45 件、小さいイベントを含めるとそれ以上にのぼる数であった。利用者様の反応は良好で、またやってほしいとの要望も多々いただいている。職員の協力に感謝したい。

ひなたの家の理念に基づく介護の実践では、毎月のひなた会議にて理念及びその具体的内容について確認することが定着している。日頃の取り組みについて理念に基づいたものであるか、利用者様の意向に沿った内容であったかなど毎回振り返りを行いながら、どうあるべきかを話し合っている。理念の実現に向けて今後も取り組んでいきたい。

身体的拘束廃止委員会では、年間の重点項目を今年度も同じ内容で掲げ「不適切ケア」防止に取り組んだ。毎月のチェック項目の内容の再検討を行い、変更を加えた 37 項目のチェックの継続、日頃のケアの状況についてのアンケートを実施等、改善を図りながら不適切ケアの防止に努めた。小規模施設で起こりうる弊害について全員で理解を深め、重点的に次年度も取り組んでいきたい。

利用者様の入退居関係では、1 件の他施設への退居とりんごの里からの入居があったのみであった。りんごの里からの入居ということで、早期の入居となり空床の期間が少なくて済んだことはよかったと思う。また、緊急対応もなく落ち着いた一年であった。入居希望の申し込みは比較的コンスタントにある状況が続いている。今後も関係機関と情報交換を行い、空床時の速やかな入居者様確保に努めたい。

新型コロナウイルスの終息の気配がなく、活動の自粛が長期化している。グループホーム本来の活動が十分に行えない状況の中でも創意工夫を行い、可能な限り利用者様本位のサービスの提供が行えるよう努めていきたい。

## 【 各種委員会関係 】

### 『事故発生防止委員会』

(総括)

- ①事故集計は毎月行えており、翌月の会議で報告ができていた。
- ②勉強会は計画的に開催し、事例検討を行い、事故防止への意識を高める働きかけを行った。
- ③ひやりはっとの件数は、少なかった。報告書の様式について再検討し、簡単に書くことが出来るようにしていきたい。
- ④これまでの事故について対応策等、会議等で随時確認を行った。
- ⑤事故が発生した場合は、その内容について会議でしっかりと確認を行った。
- ⑥対応策が実施されているか点検があいまいになっていた。確実に点検できるような仕組みを作っていくたい。

### 『食 事 委 員 会』

(総括)

- ①食事形態は、状態に応じた内容が一部周知されていないこともあったため十分に気を付けていきたい。
- ②一緒に献立を考える機会が少なかった。重要性について理解を深め、機会を多く作れるようにしていきたい。
- ③利用者様が使用する食事用具について、早めの確認、交換ができていた。
- ④季節に応じた食材、献立提供ができていた。
- ⑤賞味期限切れや日付の早いものが残ることが時々見受けられた。日付を確認しながら使う習慣がつくよう働きかけていきたい。
- ⑥費用対効果や節約を意識しながらも、おいしく、見た目もよい食事提供に努めた。
- ⑦行事に合った食事内容を企画し、利用者様に大変喜んでいただいた。
- ⑧誕生会の際は、本人の好みを把握しお祝いにふさわしい食事提供ができていた。

### 『行 事 委 員 会』

(総括)

- ①コロナ禍ではあったがおおむね企画、開催、まとめはスムーズに行っていた。
- ②行事内容について職員から意見を募って取り組んだ結果、幾多の室内行事、食事行事を行うことができた。
- ③前年度との内容を比較し、都度改善に努めた。

### 『計画作成委員会』

(総括)

- ①利用者様、ご家族の要望を反映したプラン作成ができた。
- ②プランの更新時、ひなた会議にて内容を伝え、職員への周知に努めた。
- ③状態の変化はほとんどなかったため、ケアプランの随時の見直しはなかった。
- ④コロナ禍のため外部との交流はなかなか行えなかったが、ご家族様やご友人も地域資源ととらえ、手紙や電話を活用して交流が図れるようなプラン作成を行った。
- ⑤細かい対応内容もプランに盛り込み、きめ細かいプランとなるよう努めた。

## 『広報委員会』

(総括)

- ①認知症についてのさまざまなテーマを取り上げ、一般の方にもわかりやすい内容にとすることに努めた。また、ひなたの家での取り組み等について、詳細に伝えることができた。作成者もテーマについて深く調べるにより大変勉強になり、よかったと思う。
- ②配色を明るくし、写真を多く取り入れるようにして手に取ってみたいと思っていただけるような紙面作りを心掛けた。自分の持っている作成の技術を十分に役立てることができた。

## 『感染対策委員会』

(総括)

- ①職員の感染対策はしっかり行っていた。手洗いについても実践されていた。
- ②感染症及び食中毒について勉強会を開催し、まん延防止について学ぶ機会とヒヤリハットでの事例検討を行い、知識の習得及び再確認を行った。その内容を全員に周知した。
- ③できるだけ換気を行ったが、冬期間は寒さもあり、徹底まではいかなかった。

## 『環境美化委員会』

(総括)

- ①フロアの清掃は、事故防止のため二人待機職員がいる時のみ掃除機かけ、水拭きを行った。各自意識し実行していた。居室清掃、リネン交換は実施可能な利用者様の場合は職員と一緒にいることが定着し、日常生活にメリハリができた利用者様もいらっしやった。タンスの裏側の清掃は、タンス移動が困難な居室もあり全居室は行えなかった。
- ②年二回にとらわれず、随時コンセント清掃は行っていた。
- ③大掃除は8月に実行できていたが、12月は職員体制が十分でなく実施できなかった。11月頃から呼びかけをしていきたい。
- ④冷蔵庫清掃は定着しているため今後も継続していきたい。
- ⑤苗植えは利用者様と一緒に行えたが、水やりを行う作業は、日中気温が高くなるが多かったためできなかった。
- ⑥収穫は随時利用者様と一緒にすることができ、喜びを共有できたと思う。
- ⑦入居者様個人の鉢植えの花に自主的に水やりをして成長を楽しまれている方もおり、今後もアドバイスを行い一緒に観察を行っていきたい。
- ⑧季節に応じた壁画づくりを利用者様と一緒に楽しみながら行うことができた。
- ⑨書道やぬり絵等の入居者様の作品を廊下の目立つ壁に展示した。利用者様の制作意欲につながり大変良かったと思う。

## 『身体拘束廃止委員会』

(総括)

- ①「不適切ケアチェック表」を月に一回各自チェックし、チェックが多かった項目については会議で取り上げ、状況を確認し、改善に向けて対応を検討した。
- ②勉強会は計画的に開催した。事前にアンケートを取るなど、普段のケアについて照らし合わせた内容とすることで意識が高まる内容となるよう心掛けた。
- ③3ヶ月に一回委員会を開催できた。検討事項について話し合いを行い、全員に周知した。

## 年間行事計画の実施状況

実施年月日	行事名	場所	具体的目標
令和3年 4月18日20日21日	お花見ドライブ	真人・梨木公園	季節感を味わっていただく
4月 19日	サンドイッチパーティー	ひなたの家内	好まれるものを食べて満足感を感じていただく
5月 14日	うどんの日	ひなたの家内	好まれるものを食べて満足感を感じていただく
5月 26日	花と野菜の苗植え	ひなたの家内	季節感を味わっていただく 利用者様同士の交流を図る
6月 13日	ラーメンの日	ひなたの家内	好まれるものを食べて満足感を感じていただく
6月 25日 26日	あやめ見物	浅舞公園	季節感を味わっていただく
6月 26日	ひなたカフェ	ひなたの家内	装飾やメニューを通してでカフェの雰囲気を楽しんでいただく
7月 7日	七夕行事	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
7月 14日	バーベキュー	ひなたの家玄関	季節感を味わってもらう 食事を通して利用者同士、職員と交流を図る
7月 24日	ひなたンピック	ひなたの家内	オリンピック期間にゲームを通して交流を図る
7月 28日	すいか割り	ひなたの家内	旬のものを味わい季節を感じていただく
8月 6日 20日	かき氷の会	ひなたの家内	旬のものを味わい季節を感じていただく
8月 13日	敬老会	ひなたの家内	職員から日ごろの感謝を伝え、長寿を祝う
8月 15日	ひなたカフェ	ひなたの家内	装飾やメニューを通してでカフェの雰囲気を楽しんでいただく
9月 1日	打ち上げ花火見物	ひなたの家敷地内	季節感を味わっていただく
9月 3日	ひなたの家納涼祭	ひなたの家内	季節感を感じていただく
令和3年 9月 20日	敬老会	ひなたの家内	職員から日頃の感謝を伝え、長寿を祝う
9月 21日	中秋の名月	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
10月 2日	体育祭	ひなたの家内	ゲームを通して利用者様同士の交流を図る

実施年月日	行事名	場所	具体的目標
10月 13日 ～11月 8日	紅葉ドライブ	東成瀬方面	季節感を味わっていただく 利用者様同士の交流を図る
10月 18日	十三夜	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
11月 2日	芋煮会	ひなたの家内	食事を通して季節感を味わっていただく
11月 13日	ひなたカフェ	ひなたの家内	装飾やメニューを通してでカフェの雰囲気 を楽しんでいただく
12月 7日	きりたんぼ鍋の日	ひなたの家内	食事を通して季節感を味わっていただく
12月 11日	ひなた球技大会	ひなたの家玄関	ゲームを通して体を動かす機会を作り 利用者同士、職員と交流を図る
12月 12日	ラーメンの日	ひなたの家内	好まれるものを食べて満足感を感じていた
12月 22日	冬至	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
12月 24日	クリスマス会	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
12月 30日	もちつき	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
令和4年 1月 1日～3日	正月行事	ひなたの家内	食事や余暇活動を通して季節感を味わって
1月 7日	七草	ひなたの家内	食事を通して季節感を味わっていただく
1月 8日	新年会	ひなたの家内	季節感を味わっていただく 利用者同士、職員と交流を図る
1月 18日	うどんの日	ひなたの家内	好まれるものを食べて満足感を感じていた
2月 3日	節分行事	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
2月 6日	ひなたの家冬季オリ ンピック	ひなたの家内	ゲームを通して利用者様同士の交流を図る
2月 8日	ひなたカフェ& マジックショー	ひなたの家内	装飾やメニューを通してカフェの雰囲気 を楽しんでいただく 職員の余興を楽しんでいただく
2月 13日	バレンタイン茶話会	ひなたの家内	好まれるものを食べて満足感を感じていた
2月 26日	おでんパーティー	ひなたの家内	装飾やメニューを通して食事や雰囲気を楽
3月 3日	ひなまつり &マジックショー	ひなたの家内	季節感を味わっていただく 職員の余興を楽しんでいただく

実施年月日	行事名	場所	具体的目標
3月 11日	非常食を食べる会	ひなたの家内	備蓄の非常食を食べながら、震災をしのぶ
3月 19日	サンドイッチパーティー &職員の余興	ひなたの家内	好まれるものを食べて満足感を感じていただく 職員の余興を楽しんでいただく
3月 21日	彼岸行事 おはぎ作り	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
3月 22日	犬とのふれあい	ひなたの家内	動物との触れ合いを通して、気分転換を図る
3月 27日	桜餅茶話会	ひなたの家内	季節感を味わっていただく
3月 30日	ひなたカフェ	ひなたの家内	カフェのメニューをいただきながらカフェの雰囲気を楽しんでいただく

### 慰問・ボランティア・実習等の状況

視察・慰問年月日	視 察・慰 問 者 名	備 考
令和3年 10月13日(水)	シルバー人材センター 約15名	建物周囲の清掃作業（草とり等）

## 防災計画の状況

### 令和3年度 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練（日中訓練）

実施日	参加者数	主な内容
令和3年6月22日 13時50分～14時5分	職員総数 9名 利用者様 9名 横手消防署増田署員 3名 セフティ 1名 セコム 1名	消火訓練 通報連絡訓練 避難誘導訓練

#### 防災避難訓練（夜間想定訓練）

実施日	参加者数	主な内容
令和3年10月19日 13時50分～14時00分	職員総数 9名 利用者様 9名 横手消防署南署員 4名 セフティ 1名 セコム 1名	消火訓練 通報連絡訓練 避難誘導訓練

#### 防災対策自主点検

保守点検	年 1回 (9月)
------	-----------

上記の点検等は令和3年度同様令和4年度も実施整備する。

## 令和3年度 ショートステイ ラ・ボア・ラクテ 総括

1.
  - ①利用者様の状態やニーズは年々多様化しているが、利用者様毎に情報を的確に把握しながら個別性の高いサービス提供が行えている。特に機能訓練ではニーズや状態に合わせて個別リハビリを実施し身体機能維持・向上、在宅生活の継続・再開に繋げることができている。在宅復帰の件数こそ減少しているものの、今後もより地域に於けるショートステイの役割が果たせるように関係機関との連携を密にしながら利用者様の望む生活が送れるように支援したい。
  - ②新型コロナウイルス予防の為、今年度も対外的な催しや、オンライン以外の外部研修参加を中止した。家庭介護者教室においては、代わりに施設の紹介文書を作成し、配布を行った。今後も感染症の予防に努めながら、研修や勉強会を通しての自己研鑽に努め、情報の内容・発信方法を検討し、状況にあわせて対応していきたい。
  - ③住み慣れた地域や自宅を中心に本人らしい生活が送れるように、利用者様一人一人の状況に応じて各部署及び関係機関等と連携を深め支援することができた。また、新型コロナウイルス感染症禍であるものの、機能訓練やレク活動・行事により特色を持たせることで、利用者様の社会参加や身体機能維持・向上に努めることができた。今後も施設の特色とサービス提供をより充実させることができるように努めたい。
  
2.
  - ①目標管理シートの作成、技能チェックリストを職員全員が行い、自己評価を行った。さらに自己評価に対して上司評価を行うことですり合わせができ来期の目標設定やモチベーションの維持・向上に繋げることができた。今後も評価の内容を踏まえ更に専門知識や技術の向上を図り職員一人一人が役割を持ちながら施設全体がレベルアップできるように努めたい。
  - ②今年度も新型コロナウイルス感染症予防の為、オンライン以外の外部研修への参加は中止とした。来年度もオンラインでの参加と、内部研修を充実させ、スキルアップに努めていきたい。
  - ③各部署会議、定期カンファレンス、朝カンファレンス等を通じて、利用者様の課題を共通認識、把握しながら、生活の質を向上させるためサービス提供を行えている。また、現状維持ではなく、サービスの質の向上、職場環境の充実を図るため、適宜業務改善等を行っている。今後も継続して職員全員が長く勤務することができる施設づくりに努めたい。
  
3.
  - ①事前訪問、ケアカンファレンス、サービス担当者会議を通じて、ニーズを的確に把握し、各専門職がサービス提供できた。コロナ禍でなかなかコミュニケーションやモニタリングが行えていない状況であったが、情報の伝達、共有を密にして信頼関係を構築することができた。
  - ②事前訪問、ケアカンファレンス、サービス担当者会議を通じて、利用者様の生活課題や援助方針を的確に把握しながら、各専門職が果たす役割を明確にできている。今後の課題としては、実施したサービス提供が効果的であったかモニタリング・アセスメント力を身に付けられるように検討していきたい。
  - ③コロナ禍で外出や、密となるレクリエーションはなかなか実施できていないものの、フロアの特色や季節に応じた活動が実施できている。  
また、レクプロ（レクリエーションプログラム）メンバーを中心に毎月レクの日を持ち、手芸活動・運動活動・映画鑑賞など様々な活動を提供できている。結果、フロアの枠を超えた利用者交流、心身のリフレッシュ、生活意欲の向上に繋がっている。

4. 年2回の防災訓練を城東消防署と連携し安全に配慮しながら行うと同時に避難経路や避難方法の見直しも行い、円滑な有事対応を検証することができている。また防災用品の再検討や補充を行うことと人員変動に伴った防災マニュアル及び消防計画の見直しができている。緊急連絡訓練の実施も年2回行うことができおり、有事の際に円滑な対応が行えるよう継続した取り組みを行っていききたい。
  
5. 新型コロナウイルス感染症の対策の為、消耗品等の購入が継続して多くなった。支出の増加が継続されると予想されるが、感染症が蔓延しないよう適切な対応に努めていききたい。

## 【各種委員会関係】

### 『給食改善検討委員会』

#### 実績報告

- ① 利用者様からの意見をもとに嗜好を考慮し、食べづらい食材を控え、メニューの変更や廃止等、献立にできる限り反映するよう取り組んだ。利用者様の状態が日々変化していくため、厨房業者と情報共有を密にすることで、個人対応や食形態等、より良い食事の提供に努めた。
- ② カンファレンス時や日頃の生活の中で気になったことを職員間で情報共有し、個人に配慮した食事の提供ができるよう取り組んだ。利用者様からの直接の声、職員からの状況報告をもとに話し合い、新たな個人対応や形態の変更等、改善に努めた。肉が硬く、噛むことが難しくなってきた利用者様が増えてきていたので『薄切り肉』への変更をしていたが、“もっと肉を食べたい”との声もあり、厨房側とも相談し、以前使ったことのある少し厚みのある肉に戻した。硬い肉ではないので、様子を見ながら、噛みにくいという方には、刻みに形態を変更するなど対応していくことにした。食事摂取量が少ない利用者様については職員と相談して対応を考えた。
- ③ 四季を考慮した行事食を提供するとともに、利用者様が参加する「おやつ作り」に取り組んだ。今年度は新型コロナウイルスの影響により外出ができなかった為、外部の方をお招きし、食事を作っていただいた。いつもと違う食事はとても好評だった。各職員で連携しながら前年度の改善点をもとに計画を考えて実施することができた。

次年度も衛生管理を徹底し、安心安全な食事の提供に努めたい。また、嗜好調査や家族アンケートの意見等、改善点を踏まえながら新たな取り組みに挑戦し、より良い食事を提供していきたい。

### 『家庭介護者教室運営委員会』

#### 実績報告

3年度もコロナ禍の影響で、ペーパーを使用していた活動となった。「お通じ」をテーマとした時には、便通に良い食材や、自宅で出来る体操を紹介した。テーマを決める事や編集などに時間がかかってしまい年1回の実施となった。今回は反省を生かしながら活動ペースを上げ色々な知識などを、ペーパーなどを使用して今後も実施の仕方等、工夫しながら、地域に貢献できる施設の展開を、行っていきたい。

## 『行事委員会』

### 実績報告

令和3年度はコロナウイルスの影響により、外出行事、慰問行事は行えなかった。

外出行事は行えなかったが、桜やあじさい、紅葉等の動画を撮影して利用者様に鑑賞して頂き少しでも季節を感じて頂こうという新たな取り組みを行った。どの動画も好評で、訪れたことのある場所を懐かしむ利用者様もいた。夏祭りは、前年同様、ご家族様と交流しながら行う事は出来ず、施設内で感染対策の下行った。ゲームやお神輿が好評であった。開設記念行事は例年であれば保育園児との交流を行っていたが、行う事が出来ないため職員によるダンスを披露した。一緒に腕を動かし踊って下さる利用者様もいて好評であった。冬は恒例になっているクリスマス会を行った。ハンドベルによる演奏という新たな取り組みも出来た。コロナウイルスの影響で延期した行事もあったが、日をずらして行えたものもあった。すぐに中止と判断せず感染対策の下なるべく行事を実施できるよう取り組むことが出来ていた。行事全体を通して、マスク着用、消毒、必要に応じて手袋の着用等、感染対策をしつつも、なるべく行事の質を落とさないこと、また新しい事を取り入れることを意識した。

毎年行っている行事でもコロナ禍の影響で内容を変える必要なものもあったが臨機応変に行う事が出来た。

来年度、コロナウイルスの状況によっては行える事が変わってくると思うが、その中でも積極的に利用者様が心から楽しめる事を探し行事に取り入れていきたい。

## 『広報委員会』

### 実績報告

5月、8月、11月、2月の3ヶ月に1回のペースで広報誌を発行した。季節に合わせた行事や新たに試みた行事の様子その他、レクリエーションプロジェクトの活動や栄養士主催のボア喫茶の様子など、ラ・ボア・ラクテならではの取り組みを掲載し、施設の特徴を紹介した。

次年度も施設の取り組みや特徴を多くの方に知って頂けるよう、見やすく分かりやすい広報誌の作成と、ホームページを活用した迅速な情報発信を行うよう努めたい。

## 『感染対策委員会』

### 実績報告

- ① 月1回委員会を開催し、秋田県内・市内感染状況の共有と、換気などの感染予防対策の実施状況について確認した。感染症流行に備えマニュアルの更新や各ケア時の留意点について職員全体へ周知を行った。
- ② 今年度施設内でコロナウイルス陽性者(職員)1名あり。フェーズⅡとしてマニュアルに沿って対応し、他職員・利用者様に罹患することなく感染対応解除となった。その後、委員会内で振

り返りを行い、改善点について話し合うことが出来た。現在も新型コロナウイルスの流行により各所及び他施設でもクラスターが多数発生している状況である。当施設内で蔓延することのないように、今後も職員一人一人が十分に意識して対応していく必要がある。来年度は職員が感染予防対策を正しく実践できるように啓発活動を行っていききたい。

- ③ 新型コロナウイルス発生時対応マニュアルの見直しを行い、1月に改訂を行った。フェーズⅡ、Ⅲ時にすぐに対応できるように、応急的なマニュアルも新たに作成し、より具体的に行動できるようになったと考える。

今後も状況に応じて随時改定と、各所で「報・連・相」を元に情報共有を行い、ケース・バイ・ケースとなりうる状況に対応できる体制を作り上げていきたい。

- ④ 今年度感染対策の勉強会はなかった。(褥瘡部門での勉強会開催の為)

委員会内でコロナウイルス検査や感染予防のポイントなどについて資料を用いてミニ勉強会を行った。その内容を各フロアで伝達周知した。来年度は感染予防に対して勉強会を実施する予定である。

## 『褥瘡対策委員会』

### 実績報告

月1回委員会を開催し、利用者様のADL・褥瘡状況などの情報共有とベッドマットが適切か評価を行った。同一部位に褥瘡を繰り返す利用者様に対してマットの変更を行い、褥瘡改善することが出来た。また、ADLが改善した後も除圧マットを使用していた事例もあり、今後も利用者様に合った個別的なケアとマットの適正使用に努めていきたい。また、今年度はリハビリ職員を講師に迎え、褥瘡予防ポジショニング講習を行った。褥瘡に対しての知識や正しいポジショニングを学ぶことでレベルアップにつながったと考える。

今後も利用者様が安楽に過ごせるように利用者様一人一人に適したポジショニングやケアを実施していききたい。

## 『身体拘束廃止委員会』

### 実績報告

- ①利用者様一人一人の安全の確保と尊厳を保持する為、個々に適したセンサーの設置を行い、適正について都度評価をする事ができた。不必要なセンサーを設置していないか、故障や不具合がないか等を日々確認し、又月1回の委員会後にも確認作業を実施した。

物理的な要因だけでなく、心理的要因にも目を向け、利用者様の心のケアに力を入れる事ができた。スピーチロックや不適切な声掛けがないか、委員会を中心に観察し、会議内での啓発を積極的に行う事ができた。

②今年度も身体拘束ゼロであった。

緊急時やむを得なく、身体拘束が必要になった場合に備え、身体拘束解除に向けての取り組みなど委員会や勉強会を通して確認を行った。

身体拘束ゼロ、廃止に向け、又それを必要としない介護を行っていく為、利用者様の状態の把握に努め、情報共有を徹底していく。

③施設内の研修については委員会主催で年2回勉強会を実施する事ができ、身体拘束の振り返りや更なる知識の習得を図る事ができた。昨年度同様、施設外の研修は新型コロナウイルスの影響により、参加する事ができなかった。

## 『安全衛生管理委員会』

### 実績報告

例年通り福祉用具の安全点検を行い、必要箇所の見直し、修繕を行っている。建物関係についても適宜点検・修繕し、労働災害の防止に努めた。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、衛生面での対応、労働環境面での対応についても検討を行った。今後も状況に合わせた対応方法の検討及び、精神面でのケアを行っていきたい。

## 『高齢者虐待防止委員会』

### 実績報告

①前年度同様、虐待の予防、不適切な介護の防止として、委員会主催での勉強会の実施、委員会会議内での職員への啓発、知識の習得に努める事ができた。身体的な部分だけでなく、心理的な部分にも焦点をあてる事ができ、今年度、施設内外での虐待は認められなかった。

介助中にできたと思われる内出血斑、原因を特定する事が難しい内出血斑が多数あった。

虐待と疑われる事がないように原因の把握、適切で安全な介助方法の周知と対応策の徹底を行っている。職員のストレス把握の為、ストレスチェックを実施している。

大きな変化はみられていないが、職員の精神状態の変化の把握は今度も継続して行っていく必要がある。虐待の早期発見の為、利用者様の状態把握、送迎時の観察を行う事ができた。引き続き、観察を行っていく。

②施設内の研修については委員会主催で年1回勉強会を実施し、個々の知識の習得と理解を深め、啓発を行う事ができた。

昨年度同様、施設外の研修は新型コロナウイルスの影響により、参加する事ができなかった。次年度はオンライン研修等への参加を積極的に行い、知識の習得に繋げていきたい。

## 『事故発生防止委員会』

### 実績報告

1. ①前月の各部門で挙げたヒヤリ・ハット、気づき報告の周知と、前月事故の集計・分析、1か月前の事故の対応策についての振り返りを行った。今年度の事故発生件数、及び前年度比については下記の表を参照。事故件数の累計は18件増加。前年度最も多く発生していた転倒・転落は13件減少。誤嚥の事故は3件発生している。皮膚トラブルが前年比で5件増加。前々年度から増加傾向は継続。皮膚状態が脆弱な為、起こりやすくなっている状況とも考えられる。介助方法の見直しや適切な福祉用具の活用を行っていく必要がある。また、チューブトラブルや薬関係の不注意による事故の増加が著しい。全体的に不注意の事故が前年度から10件増加しており、前々年度からさらに増加している。事故の発生場所としては居室内が一番多く、次いで食堂となっている。前年と同様、皮膚トラブルの増加に伴い、居室や浴室での皮膚状態の観察できる場所での事故件数が増加している。センサー使用者も多く、定期的にセンサーの必要性を見直している。

介護技術の向上と統一した対応を定着させる必要がある。日々の生活の中で、ヒヤリ・ハット、気づき報告を朝のカンファレンスで毎日見直し、意識、観察力向上につなげていく。継続してKYT活動を継続して実施し、気付く力を身につけていく必要がある。

	転倒・転落	誤薬	皮膚トラブル	チューブトラブル	誤嚥	その他	累計
今年度	55件	8件	46件	11件	3件	38件	161件
前年度比	-13件	+7件	+5件	+8件	+1件	+10件	+18件

②新規採用者には、事故防止のための当施設の取り組みである、ヒヤリ・ハットの運用、気づきの報告書について周知させている。勉強会では、「緊急時の対応」「事故発生予防と再発防止」について行い、日頃からの観察力向上、意識づけに繋がるよう実施した。事故件数増加に伴い、前年度から開始したKYT活動も継続して行っている。

③新型コロナウイルスの予防の為、外部研修等への出席は控えた。

2. 大きな紛争に発展した事例はなかった。

# 研修・出張の実施状況

【ショートステイ ラ・ボア・ラクテ】

参加年月日	研修内容	場所	参加者
令和3年 5月29日	第3回 摂食嚥下セミナー	オンライン	木村 幸子
令和4年 1月13日	令和3年度 雇用管理責任者講習	オンライン	田中 奈留美 奥州谷 学
1月18日	介護事業者のための業務継続計画作成セミナー	オンライン	稲荷 一将

# 職員学習会の実施状況

【ラ・ボア・ラクテ】

開催年月日	研修内容	参加人数
令和3年 6月22日	食中毒について	11名
8月31日	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	12名
9月10日・13日・14日	経営状況とコスト意識について	26名
11月10日	褥瘡ポジショニングについて	12名
12月28日	危険予知トレーニングについて	10名
令和4年 1月14日	身体拘束廃止について	11名
2月24日	個人情報保護・法令遵守・倫理について	13名
3月25日	看取り介護と精神的ケアについて	11名
3月31日	事故発生等緊急時の対応について	9名

## 令和3年度年間行事計画の実施状況

実施年月日	行事名	場所	具体的目標	主な内容
令和3年4月6日 4月7日 4月8日	いちご狩り	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供	お菓子の提供とレクリエーション
令和3年4月27日 4月28日	お茶会	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供	抹茶・お茶菓子の提供とレクリエーション
令和3年5月4日～6日	菖蒲の湯行事	5階浴室	季節感を味わう行事の提供	菖蒲湯に入浴
令和3年5月9日	母の日	施設各フロア	女性利用者へ感謝を伝える 他利用者との交流を図る	花・メッセージカード贈呈
令和3年6月20日	父の日	施設各フロア	男性利用者へ感謝を伝える 他利用者との交流を図る	花・メッセージカード贈呈
令和3年7月7日	夏祭り	施設各フロア	祭りを開催し非日常的な時間を過ごす	催し物
令和3年8月11日 8月12日	すいか割り	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供	すいか割りの実施
令和3年9月3日	花火行事	西側駐車場	季節感を味わう行事の提供	花火の実施
令和3年9月17日	敬老会	施設各フロア	利用者の長寿を祝う	長寿の表彰 記念品の贈呈
令和3年10月12日 10月13日 10月14日	BBQ	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供	食事・ドリンクの提供
令和3年10月28日	ハロウィン	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供 新しい文化に触れ刺激を受けていただく	職員の仮装 お菓子の提供
令和3年11月18日	大運動会	施設各フロア	他利用者との交流を図る	4種目の競技実施
令和3年11月30日 12月1日 12月2日	鍋行事	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供	だまご鍋調理
令和3年12月20日 12月21日 12月22日	冬至(ゆず湯)行事	5階浴室	季節感を味わう行事の提供	ゆず湯に入浴

令和 3年12月23日	クリスマス会	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供	演奏披露 ドリンクの提供
令和 3年12月29日 12月30日	もちつき行事	2、3、4階 食堂	他利用者との交流を図る 季節感を味わう行事の提供	もちつきの実施
令和 4年 1月 5日	新年会	施設各フロア	季節感を味わう行事の提供	職員による出し物の実施
令和 4年 2月 3日	節分	施設各フロア	他利用者との交流を図る 季節感を味わう行事の提供	豆まきの実施
令和 4年 3月 2日 3月 3日 3月 4日	ひな祭り	施設各フロア	他利用者との交流を図る	甘酒の提供とレクリエーション

慰問・ボランティア・実習等の状況

視察・慰問年月日	視 察 ・ 慰 問 者 名	備 考
令和3年 8月10日～12日	秋田令和高等学校 一関 夏花 様	職業体験学習
17日～19日	秋田令和高等学校 伊藤 綾香 様	職業体験学習
10月27日・28日 11月17日・18日 24日・25日	秋田県歯科医療専門学校 様	介護職員初任者研修の実習
11月30日～12月2日	秋田大学教育文化学部附属中学校 様	職場体験学習

## 防災計画の状況

### 令和3年度 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練(夜間想定)

実施日	参加者数	主な内容
令和3年9月29日 午後2時00分～2時30分	職員総数 20人 利用者様 42人 猿田興業株式会社 1人 城東消防署 3人	消火活動に使用する設備・器具の取扱い訓練 消火訓練 屋内消火栓の扱い方 通報連絡訓練 避難誘導訓練

#### 防災避難訓練(日中想定)

実施日	参加者数	主な内容
令和4年3月23日 午後2時00分～2時25分	職員総数 21人 利用者様 3人 猿田興業株式会社 1人 あきたすてらクリニック 2人	屋内外消火栓の扱い方 通報連絡訓練 避難誘導訓練 消火訓練

#### 防災対策自主点検

保守点検	年 2回 (5月、11月)
自主点検	年 1回
防災点検	毎日1回

上記の点検等は令和3年度同様、令和4年度も実施整備する

## 令和3年度 居宅介護支援センター 総括

令和3年度において、日本介護支援専門員協会が主催する研修会の講師を2回にわたり務める機会を頂いた。この好機により、広い視野と知見を深めることができ人脈も広がった。日本介護支援専門員協会からの情報を事業所内で共有し時流を掴み業務に活かすことができたと感じている。

研修等の多くがオンラインのため、受講する機会も増え知識習得することもできた年度であり、所属する職員全員が、「出来なかった」ことが「出来る」ようになることを経験できた年度であった。

オンライン研修の知識習得や秋田県内における研修会での発表の機会等、新たなことに取り組み、各自が成長できた年度であり、お互いが有用な刺激を与え合った年度であった。新規ケースも純増ベースを維持している状況である。

お互いが刺激を与え合えるような雰囲気を持しながら、次年度も各自が成長し、技量をつけて地域貢献できるように研鑽したいと思っている。

## 令和3年度 訪問介護センター 総括

今年度も特定事業加算を維持することができたが、年度後半より身体介護の件数が減少してきている状況であり、介護支援専門員との連携を取りながら身体介護の件数を増やしていきたい。研修参加に思うように参加できなかったのも、次年度は参加できるようにし、職員一人一人がヘルパーの質の向上に繋がられる研修に参加したい。

個々の苦手な分野や利用者様の体調変化に気づき、その対処方法などを事業所内研修を行い個々のレベルアップにつなげていきたい。

## 令和3年度 訪問リハビリセンター 総括

1. 訪問リハビリテーション指示医（事業所医師）による診察は、利用者様に施設へ来園いただく形で継続しています。訪問リハビリテーション指示医を交えてのリハビリテーション会議については、新型コロナウイルスの感染予防やスケジュール調整が難しく、開催が困難となっています。開催形式については次年度に検討していきたい。
2. 訪問リハビリテーションの指示に基づいた訓練提供、また主治医との情報交換については書面にて行っている。
3. 横手市からの委託事業である健康アップ教室業務については、毎週火・水・木曜日の週3日で実施。1日平均2名の方が参加した。

## 令和3年度 ラ・ボア・ラクテ 居宅介護支援センター 総括

1. 令和2年度同様に新型コロナウイルスの影響によりオンライン研修が主となり、他事業所の方と直接対面する機会は少なかったが、オンライン等で研修や情報交換は問題なく行うことができた。
2. 利用者様個々の状況に応じてサービス調整やご家族様との情報共有により個々の目標達成に向けて取り組みを行った。
3. 利用者様個々の状況に応じて必要な保健医療サービス及び福祉サービスが提供できるように他事業所との情報共有や支援を行うように努めた。
4. 利用者様の個々の意思及び人格を尊重し、公正中立・法令遵守に努め、適切に業務を行うように努めた。
5. 新型コロナウイルスの影響により各関係機関との交流は減少したが、電話連絡、オンライン等により連携、情報交換を行った。

# 事業別利用者状況表

(令和3年度)

りんごの里 福寿園	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)	平均利用者
施設サービス	2,653	2,673	2,639	2,700	2,652	2,611	2,642	2,529	2,651	2,682	2,401	2,702	31,535	2,628	97.2
短期入所	277	325	328	352	360	333	364	338	337	352	296	277	3,939	328	
介護予防短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	2,930	2,998	2,967	3,052	3,012	2,944	3,006	2,867	2,988	3,034	2,697	2,979	35,474	2,956	
通所リハビリテーション	912	911	909	955	895	891	898	855	847	778	748	907	10,506	876	32.6
予防介護通所リハビリテーション	85	75	71	73	74	61	58	63	60	52	48	51	771	64	
合計	997	986	980	1,028	969	952	956	918	907	830	796	958	11,277	940	

グループホーム ひだまりの家	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)	平均利用者
	540	511	318	253	260	222	279	270	279	279	252	279	3,742	312	10.3

グループホーム ひなたの家	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)	平均利用者
	270	279	270	275	263	270	279	270	279	279	252	279	3,265	272	8.9

ショートステイ ラ・ポア・ラクテ	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)	平均利用者
	1,852	1,931	1,865	1,946	1,935	1,859	1,922	1,874	1,941	1,945	1,760	1,946	22,776	1,898	62.4

りんごの里 福寿園 訪問介護センター	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)
身体介護	162	183	196	203	200	193	190	184	185	110	120	129	2,055	171
身体生活	58	61	60	63	58	58	61	55	63	61	56	60	714	60
生活援助	86	74	84	69	80	77	75	71	57	80	67	59	879	73
総合事業	51	53	55	59	63	60	58	55	61	55	49	55	674	56
合計	357	371	395	394	401	388	384	365	366	306	292	303	4,322	360

※総合事業分等は含む

りんごの里 福寿園 訪問リハビリセンター	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)
	124	108	124	110	74	14	144	126	128	110	90	119	1,271	106

※介護予防分含む

りんごの里 福寿園 居宅介護支援センター	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)
	159	166	169	179	173	173	160	163	159	159	152	161	1,973	164

ラ・ポア・ラクテ 居宅介護支援センター	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	合計(人)	月平均(人)
	26	23	25	27	25	27	25	25	27	26	26	25	307	26

## 事業実績報告の付属明細書

1. 役員以外の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況  
特にありません。

2. その他の重要な事項  
特にありません。